

交通システムと介護予防を問う



菅谷 元昭 (自民党)

交通システムを問う

日暮里駅は成田空港への玄関口になったが、羽田空港へ行くのは少し不便である。区内からの羽田空港行きバスや、北千住駅から羽田空港行きバスが、途中の荒川区に停車すれば利用者も多いと考えられる。民間事業者に努力してもらい、より良い荒川区の交通網にしてほしいと考えるがどうか。

荒川区コミュニティバス「さくら」は地元の方の利用も大きく変喜ばれているが、逆回りルート待ち望んでいる方が非常に多い。逆回りルートの計画は、どの程度進んでいるのか。

沿線住民を始め、地元町会等から多数の要望をいただいている。来年度はルート設定や利用者数の予測、運行に関わる経費の採算性等の様々な課題について積極的に検討を進める。

今後の介護予防について、施設面だけでなく、在宅介護や介護

事業を支援するため、補助金を交付しており、新年度は増額する。

子どもを安心して産み育てられる環境づくりと難聴者の支援を問う



斉藤 邦子 (共産党)

子どもを安心して産み育てられる環境づくりを問う

産後ケアの前提として、産後の体の変化とケアの大切さの講座を高親学級などに取り入れ、本人、パートナー、家族そして行政の認識を広げることに取り組むべき。

産後の体のケアは、母親学級にて産後間もない産婦との交流会を通じており好評である。今後、どの場面でケアの重要性を伝えることが効果的か検討していく。

産後のボディケア体験教室などを助産院等関係者の協力を得ながら取り組んでみたいだろうか。

産前産後のケアは子育て支援の観点から重要な分野であると認識しており、関係機関と連携を取り支援のあり方を研究していく。

子育て支援家庭訪問事業の補助金を引き上げ、利用者の要望に応えられるようにすること。

「35サポート・イン・荒川」の産後ボランティア支援訪

予防が重要だと考える。区が行ってきた介護予防事業の取り組み内容とその現状について、介護予防の先進都市と言われる和光市と比べて、どの程度進んでいるのか。

高齢化の進展に伴い、今年度から新たに国のモデル事業である「介護予防強化推進事業」の他「介護予防・日常生活支援総合事業」を開始した。事業の実施に当たっては和光市等先進都市の取り組みを参考に地域ケア会議を開催し、各高齢者の状態像に合わせた、自立に向けた支援を進めていく。

今後、地域包括支援センターの役割が非常に重要になると考えている。介護予防や地域づくりの拠点として、今まで以上に地域包括支援センターの機能を強化していくことが必要と考えるがどうか。

地域包括支援センターは地域包括ケアを支える中核拠点として地域での多職種との連携や、地域づくりによる介護予防の推進など重要な役割を果たすことが求めら

難聴者の支援のために 介護予防の観点から、中重度の難聴の方にも補聴器購入補助を創設し、増聴器や骨伝導補聴器の補助も検討すること。

高齢の難聴者が日常生活の向上を図るため補聴器等を活用することは重要である。購入助成は、他区の状況等を参考に検討する。

補聴器使用者のため、磁気ループの区施設への設置と、携帯用を高齢者、障害者の窓口や会議等の場所でも利用できるようにすべき。

障害のある方の生活上の支障を、可能な限り解消するよう努めることは重要な視点であり、具体的な工夫や方策を検討していく。

聴覚に障害のある方に対応した火災警報器について、障害者手

り、今年度より、地域ケア会議や在宅療養連携推進会議を開始し、その機能の強化に努める。

高齢者に活躍の場を与えることが、介護予防につながっていくと考える。介護予防事業の参加者に子どもの面倒を見てもらうなど生きがい、やりがいを感じてもらおう工夫が必要と考えるが、今後の取り組みについて問う。

高齢者自ら社会活動に参加することで介護予防を促進するため、いきいきボランティアポイント制度事業を実施している。今後、この事業に子どもを対象とした活動など制度拡充を検討する。

平成25年度予算案について ○防災まちづくりについて ○公共サインについて ○いじめ・体罰問題について

その他の質問項目

帳の等級や同居者の有無にかかわらず設置費用の補助をすること。

難聴の方など特に配慮が必要な方には、戸別訪問指導などを通して必要な指導助言に努める。

その他の質問項目

このころの健康対策強化について

このころの健康対策強化について

このころの健康対策強化について

このころの健康対策強化について

このころの健康対策強化について

平成 25 年度 予算を可決

平成 25 年度一般会計予算ほか 3 特別会計予算は、「予算に関する特別委員会」(議長を除く全議員で構成・委員長 = 鳥飼秀夫、副委員長 = 保坂正仁)を設置し、2 月 25 日から 3 月 8 日まで審査を行い、いずれも可決されました。



主な総括質疑

自民党 服部 敏夫 委員

・新年度予算の特長と震災対策関連予算の概要について

・災害に備えた区施設における非常用電源の確保について

・隅田川の河川水を活用した水久水利の整備について

・タブレットパソコン導入による効果と今後の検証について

自民党 明戸 真弓美委員

・荒川区の魅力を高める情報発信戦略の意義と方針について

・らく楽商店街事業、街なか商店塾、一店逸品運動について

・荒川コミュニティカレッジ受講生が活動する場の整備について

公明党 松田 智子 委員

・子宮頸がんの日PV検査、乳がん検診の導入について

・胃がん検診にヘリコバクター・

ピロリ菌検査の追加について

幼児教育無償化に対する区の見解について

共産党 横山 幸次 委員

・税、社会保障費等の負担増に対する区の対策について

・生活保護費が削減された場合の区民への影響について

・区内製造業実態調査を生かしたものづくり支援について

民主・市民 竹内 明浩 委員

・PPSの小中学校での導入状況と区施設への入札状況について

・永久水利整備事業の尾久地区での先行導入について

元気クラブ 齊藤 裕子 委員

・日暮里区民事務所周辺開発と東尾久ふれあい館の早期実行を

日本創新党 小坂 英二 委員

・23区に先駆けた外国人学校保護者補助金の廃止について

正論の会 浅川 喜文 委員

・女性の卵子老化を小5から教える、AMH検査を推進せよ!

改革の会 藤澤 志光 委員

・永久水利事業を区単独で実施することに

総括質疑についてはDVDを広報課及び各区立図書館で貸し出ししますのでご利用ください。

主な締めくくり 総括質疑

自民党 北城 貞治 委員

・複数の財政指標による財政の健全性の確認について

行政評価制度を活用した事業の見直しについて

・高齢者福祉と介護保険課の統合について